

川島織物セルコン ミラノデザインウィーク2022 へ出展

WOVEN NARRATIVES - Kyoto, the landscape of Four Symbols -

アートディレクションにクリエイティブユニット AtMa inc. を迎え
新作織物 8種を採用したインスタレーションを実施



株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：木村弘一）は、2022年6月7日（火）～12日（日）、イタリア・ミラノで開催される世界最大規模のデザインイベント ミラノデザインウィークに出展し、『WOVEN NARRATIVES -Kyoto, the landscape of Four Symbols-』（邦題：移ろう景色の中で紡ぐ物語 - 四神が司る京都 -）をミラノ最古の文化協会Circolo Filologico Milaneseの図書館で開催します。

2019年に次いで2回目のミラノデザインウィーク出展となる今回は、アートディレクションに世界から高い評価を受けるクリエイティブユニットAtMa inc.を迎え、「四神が司る京都」をテーマにしたインスタレーションを展開。川島織物セルコンの発祥の地であり、移ろいながらも1000余年の時を超えて続いてきた京都の景色と、古来より東西南北から京都を守ってきたとされる神話上の霊獣「四神」（青龍・朱雀・白虎・玄武）の物語を、新たに発表する8種の織物と空間構成で表現します。創業より長きにわたり培ってきた伝統技術と現代技術の融合で豊かな表現力に挑んだ織物が創り出す空間を通して、時代を超えて紡ぎ続ける物語と、革新を続ける織物の可能性を示唆していきます。

インスタレーション「WOVEN NARRATIVES - Kyoto, the landscape of Four Symbols -」

川島織物セルコン発祥の地 京都は、1000余年有為転変の物語を紡いできました。その京都において、不祥を遠ざけものごとの流れを順調ならしめると言われ、古来より東西南北それぞれの地（川・道・池・山）から守ってきたとされる神話上の霊獣 四神（東：青龍、西：白虎、南：朱雀、北：玄武）。本展は、ミラノで古くから親しまれ、さまざまな物語が詰まった図書館を舞台に、新たに発表する8種の織物を家具に模したオブジェやタペストリーで展示し、移ろいながらも長きにわたって続いてきた京都の景色と、「四神」が守護する京都が紡いできた物語を多彩で表情豊かなインスタレーションで表現します。

新作織物

機械織りによる織物4種と、伝統的な手織りの織物4種の全8種を新たに発表します。ジャカード織の技術を採用した機械織りの織物は、「四神」が鎮座するとされる京都の景色を、歴史的背景にある色や形、関連する伝統的な文様を掛け合わせたデザインで構築。特殊な素材を織り込むことにより、見る角度や光の当たり方によって多様に表情を変え、移りゆく京都の景色を巧みに描き出しています。手織りの織物は、川島織物セルコンのデザインアーカイブの中から1930年頃にデザインされた「四神」を再解釈し、現代に蘇らせました。西陣織の伝統的な3種の織り技術に現代の素材を組み合わせ、伝統工芸士である職人が精魂込めて丁寧な織り上げています。創業より約180年にわたり培ってきた伝統技術と現代技術の融合で生まれた新作織物が、新たな物語を紡いでいきます。

アートディレクター AtMa inc.

<メッセージ>

職人による伝統ある手織り、新しいアイディアに挑戦する機械織り、その二つの技術を用いて川島織物セルコンにとってゆかりのある「四神が司る京都」の物語を、織物がつくる風景を通して表現した。過去から受け継ぐ文化や伝統と、新しい技術を掛け合わせた多様な表現のオブジェ達は、無数に色や表情を見せその移ろいから、見る人に情緒的な感情を引き起こすだろう。デジタル情報やモノが溢れる時代だからこそ、精度の高い織りが作り出す圧倒的な物質の存在と、そこに詰まった物語を感じて欲しい。物語があるものこそが人に伝わるものになっていくのではないだろうか。移ろいながら続く景色の物語。

<プロフィール>

鈴木 良と小山 あゆみにより2013年に設立されたクリエイティブユニット。ファッションショップやレストラン、ウィンドウディスプレイなどの空間のデザイン、ホテルやアパートメントのディレクションに加え、近年ではプロダクトデザイン、インスタレーションなど活動の幅を広げている。

2019年のミラノデザインウィークでも大きな注目を集め、2020年のFRAME AWARDではエマージングデザイナー オブ ザ イヤー部門でPEOPLE's CHOICEを受賞。

<http://atma-inc.com/>



受賞歴

FRAME AWARD 2021 Retail shop design, Longlisted

FRAME AWARD 2020 Emerging Designer of the year, The Peoples Choice

Dezeen AWARD 2020 Emerging Designer of the year, Longlisted

Dezeen AWARD 2020 Small retail shop, Longlisted

イベント開催概要

タイトル	英題：WOVEN NARRATIVES -Kyoto, the landscape of Four Symbols- 邦題：移ろいの中で紡ぐ景色の物語 - 四神が司る京都 -
開催期間	2022年6月7日（火）～12日（日）10：00 - 20：00 ＊6月8日（水）のみ 10：00 - 19：00
Press Preview	2022年6月6日（月）12：00 - 18：30
会場	Circolo Filologico Milanese 2F 8B https://filologico.it/ （住所：Via Clerici 10, 20121 Milano MAP ）
展示面積	約75㎡
Art Direction / Installation Design / Pattern Design	鈴木 良 / 小山 あゆみ（AtMa inc.）
Graphic Design	杉森 裕介（apart-apart inc.）
Lighting Design	岡安 泉（岡安泉照明設計事務所）
Exhibition Cooperation	KOYA JAPAN Lighting 株式会社
HP 本展紹介ページ	https://www.kawashimaseikon.co.jp/info/news/20220426-01/
特設サイト	https://www.kawashimaseikon.co.jp/event/milan2022/ ＊2022年5月25日頃開設予定

川島織物セルコン

1843年に京都で創業し、179年の歴史を持つ織物メーカー。古くは明治宮殿、近年では京都迎賓館や数々のラグジュアリーホテルに織物を納入するなど、その唯一無二のクオリティが高く評価されている。熟練の職人による伝統的な手織り技術に加えて、現代ならではのテクノロジーを駆使した機械織りも積極的に取り入れ、文化の継承と未来へつなげる技術革新に力を注いでいる。京都の本社には、企画・デザインから染め・織りまで一貫生産を手掛ける織物の製造工場、歴史的価値の高い作品を所蔵する「川島織物文化館」、次世代に織物技術を継承する「川島テキスタイルスクール」を併設。織物文化の継承と発展、そして発信に努めている。

Website： <https://www.kawashimaseikon.co.jp>

Instagram： [@kawashimaseikon_textiles](#)

Facebook： [@kawashima1843](#)

YouTube： <https://www.youtube.com/c/kawashima1843>